

14 柔 道

- 1 期 日** 令和5年8月4日(金)
- 2 会 場** 松任総合運動場公園体育館
〒924-0865 白山市倉光4-22 TEL 076-276-4844
- 3 日 程**
- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 3日(木) 受付・予備計量 | 12時00分～ |
| 計量・柔道着点検 | 13時00分～15時00分 (メインアリーナ・柔道場) |
| 各県代表者会議 | 14時30分～ (役員室) |
| 監督会議 | 15時20分～15時45分 (集会室) |
| 開始式 | 16時00分～16時20分 (メインアリーナ) |
| 練習会場開放 | 12時00分～17時00分 (メインアリーナ・柔道場) |
- 4日(金) 開 場 7時30分
- | | |
|----------|--------------------|
| 審判会議 | 8時00分～ 8時20分 (集会室) |
| 競技開始 団体戦 | 8時30分～10時10分 |
| 個人戦 | 10時40分～15時00分 |
- ★昼食時間は設けない。
- 4 競技方法**
- (1) 団体戦 男子・女子とも10チームによるトーナメント戦とする。
 - (2) 個人戦 男女とも8階級、各階級16名によるトーナメント戦とする。
 - (3) 試合時間 団体・個人戦ともに3分間とする。決着のつかない場合は、時間無制限のゴールデンスコア (以下はGS) の延長戦を行い、勝敗決定する。
 - (4) 順位の決定について
団体戦トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
 - ① チーム間の勝ち数による。
 - ② ①において同等の場合は、内容 (得点等) により決定する。
 - ③ ②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- 5 競技規則**
- (1) 国際柔道連盟審判規定 (2022年4月1日より施行の改正ルール) 及び国内における「少年大会特別規程」による。(2023年6月1日全柔連発「国際柔道連盟試合審判規定の解釈に伴う国内大会への適応について」を適応する)
 - (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
 - ①団体戦
 - ア 個々の試合においては勝ちの内容順を「一本」「技有」「僅差」とする。
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価 (技有) が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。
 - イ 代表戦は任意の選手とし、勝敗基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合はGSでの延長戦により勝敗を決する。延長戦による勝敗決定の方法は個人戦と同様とする。
 - ウ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
 - ②個人戦
 - ア 勝敗の判定基準は「一本」「技有」又は「僅差 (『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合はGSでの延長戦により勝敗を決する。

- イ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- (3) 細部における同審判規定の運用上の申し合わせ事項は、全国中学校柔道大会の申し合わせ事項に準じて実施する。

6 参加規定

- (1) 団体戦
- ①男女とも、各県2チームとする。
 - ②男子の1チームの人員は、監督1名・選手7名以内とし、5人戦とする。
女子の1チームの人員は、監督1名・選手4名以内とし、3人戦とする。
試合ごとに選手の位置を変えることはできない。
 - ③チームの編成は、体重の最も重い者を大将とし以下順次体重順に編成する。
 - ④有段者は、黒帯を用いること。(講道館から段位証書が交付された者)
 - ⑤各県は、男女出場校の1位・2位の順位を明記すること。
- (2) 個人戦
- ①男女とも、各階級各県3名、開催県4名とする。
 - ②各県は1～3位まで、開催県は1～4位までの順位を明記すること。
 - ③各階級及び体重区分

【男子】	ア	50kg級	50kg以下
	イ	55kg級	50kgを超えて55kg以下
	ウ	60kg級	55kgを超えて60kg以下
	エ	66kg級	60kgを超えて66kg以下
	オ	73kg級	66kgを超えて73kg以下
	カ	81kg級	73kgを超えて81kg以下
	キ	90kg級	81kgを超えて90kg以下
	ク	90kg級超	90kgを超える

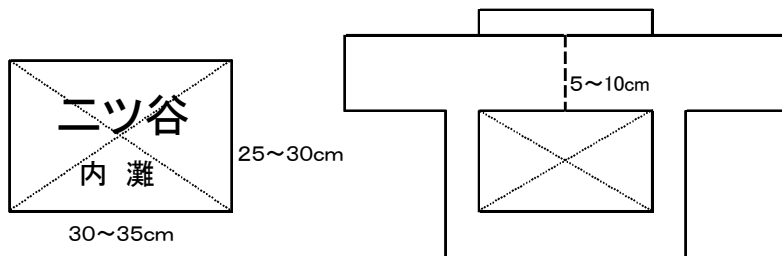
【女子】	ア	40kg級	40kg以下
	イ	44kg級	40kgを超えて44kg以下
	ウ	48kg級	44kgを超えて48kg以下
	エ	52kg級	48kgを超えて52kg以下
	オ	57kg級	52kgを超えて57kg以下
	カ	63kg級	57kgを超えて63kg以下
	キ	70kg級	63kgを超えて70kg以下
	ク	70kg級超	70kgを超える

7 引率者及び監督

- (1) 引率者・監督は、学校の場合当該校の校長・教員・部活動指導員とする。
ただし、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。
地域クラブ活動の場合、各県中学校体育連盟にて承認・申請済みの代表者・指導者とする。
- (2) 大会では学校の場合、外部指導者(コーチ)を置くことができる。ただし、外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者1名(男女それぞれ1名)とし、指導者承認書(様式B)を参加申込時に提出する。地域クラブ活動の場合、コーチは各県中学校体育連盟にて承認・申請済みの代表者・指導者とする。
- (3) 中学校教職員は他チームのコーチになれない。また、同一人物が複数チームのコーチになれない。

8 柔道衣点検 (1) 下記基準に基づいて、柔道着点検を実施する。

- ① (公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣 (上衣・下穿き・帯) を着用すること。(赤色マーキングのもの)
- ② 柔道衣には必ずゼッケン (学校または地域クラブ名・名字入り) を縫い付けて出場すること。(必ず対角線にも縫ってあること) ゼッケンにはチーム名を記入すること。(学校名には中をつけても良い)

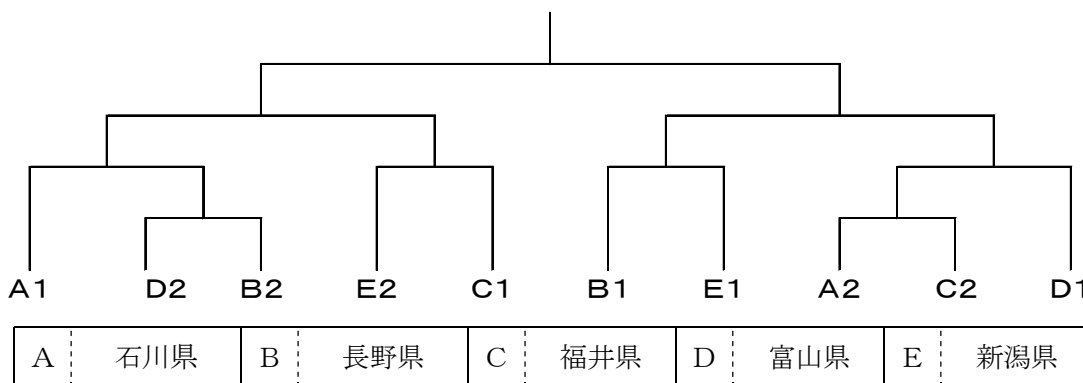


- ③ 胸マーキング等について、サイズは規定に準ずる。
- ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、(公財) 全日本柔道連盟が定める規定 (2013. 4. 1 より施行) に準ずる。
- ⑤ 女子の帯については、男子同様とする。
- ⑥ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用し点検を受けること

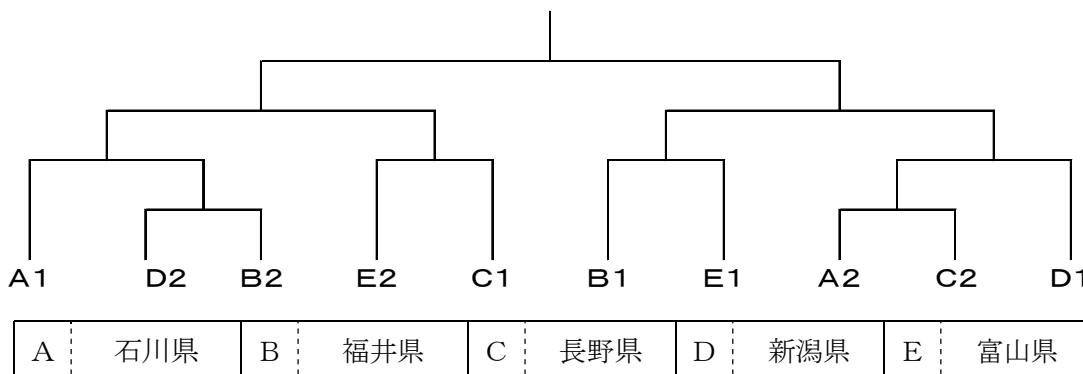
9 表彰 大会実施要項の規定により表彰する。

10 組合せ

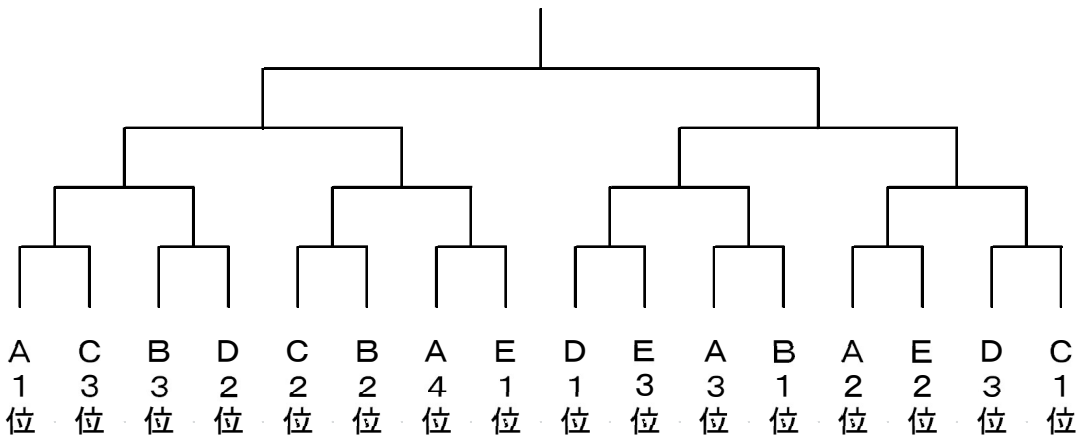
(1) 団体戦《男子》



(2) 団体戦《女子》



(3) 個人戦《男女》



	個人階級	A	B	C	D	E
男子	50kg級	石川	新潟	福井	長野	富山
	55kg級	石川	福井	新潟	富山	長野
	60kg級	石川	長野	福井	新潟	富山
	66kg級	石川	新潟	富山	福井	長野
	73kg級	石川	富山	長野	新潟	福井
	81kg級	石川	新潟	長野	富山	福井
	90kg級	石川	長野	新潟	富山	福井
	90kg超級	石川	福井	長野	富山	新潟
女子	40kg級	石川	富山	長野	福井	新潟
	44kg級	石川	福井	長野	富山	新潟
	48kg級	石川	新潟	福井	富山	長野
	52kg級	石川	富山	新潟	福井	長野
	57kg級	石川	富山	新潟	福井	長野
	63kg級	石川	長野	新潟	福井	富山
	70kg級	石川	富山	新潟	福井	長野
70kg超級	石川	福井	新潟	長野	富山	

11 その他

(1) 各県から派遣審判員3名(委員長も可)を選出し、審判にあたる。

(2) 選手変更について

①団体戦

ア 大会申込書提出後、選手の諸事情等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要な事項を記入の上、当該校の校長または地域クラブの代表者から理由書を添えて提出すること。

イ アによる変更届は、大会開会式前日までに当該県の専門委員長が大会本部に提出すること。

ウ 試合当日は、登録選手の交代のみとし、その場合は体重順に編成替えをすること。交代する選手が既に登録している選手と同体重の場合は、監督判断で交代する選手の順番を決定し、入れることができる。

(3) 開会式は行わない。代わりに開始式を行い、競技上の注意等を行う。また、閉会式・表彰式も行わない。賞状は、監督、コーチを通じて渡す。